

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	62-1	美濃市立美濃病院経営安定化プラン継続策定	担当課 美濃病院事務局管理課
			作成者 春田・鶴銅泰
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類 4医療
	総合計画上の施策名	15 美濃病院の安定経営の維持	
	施策名（評価単位）	(40) 美濃病院の安定経営の維持	

2. 事務事業の目的	美濃病院に課せられた役割を明確にし、地域医療を確保するとともに、経営安定化プランのもと、良質な医療を継続して提供できる体制を保持します。
------------	--

3. 事務事業の実績	<p>◆経営安定化プランの検証を行いました。</p> <p>◆収益に関する事</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療情報システム、錠剤分包機・散薬分包機・散薬監査システムなどを更新し、業務の効率化及び安全性の向上に努めました。 在宅医療支援センター、地域支援室との協働により、入院患者及び在宅患者とその家族に対する相談、支援の充実を図りました。 福祉及び保健部門と連携し、健診業務の一層の強化、充実を図りました。 <p>◆経費に関する事</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤・診療材料、電気料金、電話料金の見直しを図り、費用を削減しました。 後発医薬品への切り替えを促進しました。
------------	--

(1) 事業の実施内容（平成元年度）

(2) 事務事業実施にかかるコスト		（単位：円）			
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
① 直接事業費	500,000	500,000	500,000	500,000	
② 人件費	7,600,000	8,625,000	8,625,000	8,625,000	
③ 合計コスト ①+②	8,100,000	9,125,000	9,125,000	9,125,000	
前年度比		112.7%	100.0%	100.0%	
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	
	市債	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	0	
	一般財源	8,100,000	9,125,000	9,125,000	9,125,000
④ 活動一単位当たりコスト	595.0	1,223.5	1,173.2	1,303.6	
前年度比		205.6%	95.9%	111.1%	
⑤ コストに関する増減理由					

(3) 活動指標	指標名	純損益	単位：	千円
	指標説明	収益的収支における純損益（収入-支出+特別損益）状況		
		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
	実績値	13,613	7,458	7,778
			令和2年度見込	7,000

4. 評価・課題	<ul style="list-style-type: none"> 病院経営安定化プランをもとにした取り組みにより、引き続き黒字決算となりました。 建物が築15年以上経過しており、老朽化による修繕費等の増額が見込まれます。このため、予算配分について、一層留意する必要があります。 新型コロナウイルス感染症による機能不全に陥ることがないように感染対策を講じる必要があります。
----------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
<ul style="list-style-type: none"> 増築した健診棟を計画的に活用し、健診率の底上げを図るとともに、「地域包括ケア病棟」を活かし、急性期から回復期までの入院患者の受入れなど幅広い病床機能の運用により、稼働率を維持し、収益確保に努めます。 薬剤・診療材料費など継続的な経費の見直しを図ります。 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、感染防止対策を図ります。 		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	井川 勝彦
<ul style="list-style-type: none"> 美濃病院経営安定化プランの方針及び目標値の達成を目指し取り組んだことで、黒字決算となり事業の成果がありました。 安定経営を維持しながら、充実した医療サービスを提供していくためには、病院改革プランの策定は必要と考えられます。コロナウイルス感染症による減収が予想されることから、今後も医療関係の情報収集を積極的に行い、現プランの内容を継続した新たなプランの策定を実施することとします。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
--------	-------	---------------------------

事務事業評価表（内部管理事務）

（評価対象：令和 年度）

1. 事務事業の概要			
事務事業名	62-2	医療機器の計画的整備	担当課 美濃病院事務局管理課
			作成者 市原・春田
施策体系	行政分野	①健康・福祉	施策分類 4医療
	総合計画上の施策名	15 美濃病院の安定経営の維持	
	施策名（評価単位）	(40) 美濃病院の安定経営の維持	

2. 事務事業の目的	医療水準向上のための現在未整備である新規医療機器の導入を進めるとともに、老朽化した機器を限られた予算の中で計画的に更新していくことを目的とします。
-------------------	---

3. 事務事業の実績	<p>更新した医療機器 ○医療情報システム ○錠剤分包機・散薬分包機・散薬監査システム ○静的視野計 ○自動ジェット式超音波洗浄装置 ○スリットランプ ○医学教育用シミュレータートレーニングモデル ○心電図・血圧脈波検査装置 ○麻酔記録装置 ○温冷配膳車 ○頭部固定装置</p> <p>平成15年度（新病院移転時）に購入した100万円以上の医療機器、医療情報機器のうち今年度は金額ベースで7.5%更新しました。なお、全体では68.5%の更新が終了しました。</p>
-------------------	---

(2) 事務事業実施にかかるコスト		（単位：円）			
区分		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費		23,194,720	103,974,800	178,774,400	87,373,000
② 人件費		5,600,000	7,875,000	8,625,000	8,625,000
③ 合計コスト ①+②		28,794,720	111,849,800	187,399,400	95,998,000
前年度比			388.4%	167.5%	51.2%
財源内訳	国・県支出金	0	0	2,640,000	0
	市債	0	0	127,200,000	29,100,000
	その他特定財源	0	0	0	17,451,000
	一般財源	28,794,720	111,849,800	57,559,400	49,447,000
④ 活動一単位当たりコスト		15,155,115.8	18,336,032.8	24,986,586.7	8,807,156.0
前年度比			121.0%	136.3%	35.2%
⑤ コストに関する増減理由		令和元年度は、既に更新を行っている高額な医療機器及び新規の医療機器を購入したため、活動一単位当たりコストが増加しました。 令和2年度は、ナースコール・X線透視撮影装置など多くの更新対象医療機器を購入したため、活動一単位当たりコストが減少しました。			

(3) 活動指標	指標名	医療機器更新率の上昇値		単位：	%
	指標説明	新病院移転時の更新対象医療機器を基準に金額ベースでの更新率の上昇値を算出			
	実績値	平成29年度実績 1.9	平成30年度実績 6.1	令和元年度実績 7.5	令和2年度見込 10.9

4. 評価・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院内の各部局の意見聴取や医療機器の点検等により、老朽化した機器の更新、新規購入ができました。 ・ 耐用年数を著しく過ぎた機器については故障のリスクが高まり、緊急の購入や修繕の要因となります。多くの機器が購入から10年以上経過している中で、計画的更新を進める必要があります。
-----------------	--

5. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
<p>・ 老朽化、機能性等を視野に入れ、今後、担っていくべき診療機能にふさわしい医療機器の計画的更新を目指します。</p>		

6. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	井川 勝彦
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度も引き続き質の高い医療の維持と向上目標に掲げ、医療機器の整備及び更新を進めてきました。 ・ 医療の水準を維持、向上させるため医療機器の更新及び施設の修繕を計画的に行い、患者満足度向上につながる成果を出すことを目標とします。 		

今後の方向性	1. 継続	(1. 継続 2. 廃止 3. 完了 4. 統合)
---------------	-------	-----------------------------

事務事業評価表（一般事業）

（評価対象：令和 元 年度）

1. 事務事業の概要				
事務事業名	62-3	健診メニュー及び予防医療の充実		担当課 美濃病院事務局管理課
				作成者 鵜飼恭・亀山・杉政・江崎
施策体系	行政分野	①健康・福祉		施策分類 4医療
	総合計画上の施策名	15 美濃病院の安定経営の維持		
	施策名（評価単位）	(40) 美濃病院の安定経営の維持		

2. 事務事業の目的	健診受診環境整備及び受入体制の充実により市民の健康維持・増進を推進します。
-------------------	---------------------------------------

3. 事務事業の実績	
(1) 事業の実施内容（平成元年度）	<ul style="list-style-type: none"> ・国からの委託で第5期風しんの抗体検査・接種業務を外来と健診にて実施しました。（健診時に同時実施） ・市内の健診未受診大手企業に「お試し健診」を企画し、その案内を送付しました。 ・市内企業の従業員を対象にインフルエンザワクチンの出張接種を行いました。 ・保健センターとの合同講場として「からだ改善プロジェクト」を実施しました。（継続） ・平日受診できない方の為に、休日に総合健診デー・マンモサンデーの実施をしました。（継続） ・市役所より美濃市国保ドックの実施内容変更の相談を受け、新国保ドック実施に向けた検討会議を開催しました。（令和2年度より新規事業として開催） ・乳がん検診施設認定（中精医）更新にともなう症例収集、精度管理、技術向上に向けた教育指導を実施しました。

(2) 事務事業実施にかかるコスト （単位：円）				
区分	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込
① 直接事業費	1,170,720	1,194,990	1,027,993	1,200,000
② 人件費	21,200,000	18,000,000	18,375,000	16,500,000
③ 合計コスト ①+②	22,370,720	19,194,990	19,402,993	17,700,000
前年度比（％）		85.8%	101.1%	91.2%
財源内訳	国・県支出金	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	22,370,720	19,194,990	19,402,993
④ 活動一単位当たりコスト	438,641.6	362,169.6	352,781.7	310,526.3
前年度比（％）		82.6%	97.4%	88.0%
⑤ コストに関する増減理由 （H30年度実績、R元年度見込）				

(3) 活動指標	指標名	事業所への訪問、電話打合せ回数			単位：	回数
	指標説明	訪問・依頼に応じて話し合いをした回数				
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	
		51	53	55	57	

(4) 成果指標	指標名	新規健診メニュー（オプション）・ワクチンの種類			単位：	個	評価：	+
	指標説明	新規健診メニュー（オプション）・ワクチンの種類の増加						
	目標値の設定方針	前年度と同値以上						
	実績値	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込			
	達成度（％）	77	79	83	83			
	実績値	76	82	82				
	達成度（％）	98.7%	103.8%	98.8%				

4. 妥当性評価（「No」となった場合には、その理由を「5. 評価・課題」に記載すること。）					評価	B
① 総合計画の体系の中で類似・重複した事務事業はないか	Yes	1	No			
② 民間の事業（サービス）との競合はなかったか	Yes		No		1	
③ 国や県の事業（サービス）との重複はなかったか	Yes	1	No			
④ 他自治体との比較、市民ニーズを踏まえサービスの水準を見直す必要はないか	Yes	1	No			

5. 評価・課題	
<p>・健診と同時に風しんの抗体検査が実施でき市民の方が抗体検査の為に仕事を休まなくてよい環境が整備でき受診者にも好評でした。</p> <p>・「お試し健診」を送付した大手企業の1社より問い合わせがあり内容の説明等を行った結果、R2年度より新たに50名の健診の契約ができました。</p> <p>・市内企業より職場でのインフル予防接種の依頼があり、出張による接種を実施した。企業からは「仕事を止める時間が少なくて済んだ」と感謝の言葉があり、来年度以降についても薬局とワクチン数の調整を行いながら、実施する方向で検討していきます。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の流行に伴い受診者の不安が高まっています。安心して健診を受診していただくためのコロナ対策を行う必要があり、国の指針に沿った対応や県内の流行に合わせた柔軟な対応が必要です。</p>	

6. 具体的な改善内容	改善時期	令和2年4月
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の方が受診しやすい健診を行えるように国保ドックの内容及び価格を決定します。 ・市内の企業へのインフル予防接種が継続できるよう薬局に依頼を早めに依頼します。 ・コロナ対策の為環境整備を整えていきます。 ・企業や市民の方のニーズを把握しニーズに沿った事業展開を計画します。 		

7. 事業の総合評価及び今後の方向性	所属長氏名	井川 勝彦
<ul style="list-style-type: none"> ・健診事業については受診者数も増加しており受診企業及び各受診者の方から高い評価をいただいています。今後も継続した評価を得るために、みの健康管理センターによる受診環境整備、健診メニューの充実や二次検査未受診者への対応（受診勧奨）を継続して実施します。 ・予防接種事業については、接種前問診、手順等に留意し、適切に実施することができました。 		
今後の方向性	1. 継続	